

平成20年7月4日  
中部経済産業局

## 北海道洞爺湖サミットへの電気バスの提供について

## ～地域新生コンソーシアム研究開発事業の成果～

北海道洞爺湖サミット(本年7月7日～9日開催)において、平成17～18年度地域新生コンソーシアム研究開発事業にて北陸電力株式会社を中心に開発した小型電気バスをシャトルバスとして提供することになりました。

これは、環境問題を主要なテーマとする同サミットでは、準備や運営にあたって、「環境への配慮」をできる限り行うよう求められていることを受け、「次世代自動車によるシャトル運行」の一環として小型電気バスを提供することになったものです。

この「小型電気バス(および充電装置)」は、北陸電力株式会社技術開発研究所(富山市)が、福井大学、三菱ふそうバス製造(株)、(株)KECなど8社・団体と共同で、中部経済産業局の「平成17年度・18年度地域新生コンソーシアム研究開発事業」にて委託開発したものです。

## 1. 北海道洞爺湖サミットに提供する小型電気バスの概要

- ・定員：28名
- ・性能：最高速度 90 km/h  
航続距離 100 km
- ・充電：通常充電(夜間の100%充電には8時間)  
急速充電(昼間の50%補充電には30分)
- ・冷暖房：冷房 クーラー / 暖房 空調用電気温水ヒーター



【正面写真】



【側面写真】

## 2. 研究開発の概要

- ・ 事業及びテーマ名  
平成17～18年度地域新生コンソーシアム研究開発事業  
「高性能リチウムイオン電池を動力とする小型電気バスの開発」
- ・ 管理法人：財団法人北陸産業活性化センター
- ・ 再委託先：北陸電力株式会社、福井大学、株式会社KEC、三菱ふそうバス製造株式会社、中外炉工業株式会社、エナックス株式会社、株式会社東京アールアンドデー

以 上

(お問い合わせ先)

中部経済産業局 地域経済部 産業技術課

担当：中川、後藤、渡邊(孝)、和田

電話：052-951-2774(直通)